

集会活動（人権）指導案

1 主題 「互いのよさを認め合える仲間づくり」

2 指導にあたって

- (1) 児童の実態【省略】
- (2) 各学年の様子【省略】
- (3) 本集会までの過程【省略】
- (4) 本集会

本集会では、児童の日常生活の中で起きている「言葉が足りなかったために生じた誤解の場面」を取り上げる。今回の学習を通じて、相手の立場や気持ちを大切にしながら、自分の思いや考えをうまく伝えることの大切さに気付かせると同時に、互いに認め合い、支え合っていこうとする態度を養う。

3 ねらい

- 自分や友達のことを深く知り、それぞれのよさを共感的に理解できるようにする。
(知識的側面)
- 「互いのよさを認め合える仲間づくり」に向けて、自分ができることを考え、主体的に行動できるようにする。
(価値的・態度的側面)
- 友達の意見を聞いて考えを深めたり、自分の思いや考えを正しく伝えたりできるようにする。
(技能的側面)

4 指導計画

- 第1回「友だちの いいところ みつけたよ！」
- 第2回「もっと知りたいな 友だちのこと」
- 第3回「『〇っ子 なかよしすごろく』を作ろう」
- 第4回「『〇っ子 なかよしすごろく』をして、友だちのことをもっと知ろう」
- 第5回「だれにでもあるいいところに 目を向けよう」
- 第6回「ひっくりカエル！いいところいっぱいみつけよう」
- 第7回「ふわふわ言葉で 伝えよう」
- 第8回「本当に伝えたい気持ちを言葉にしよう」(本時)

5 本時の活動

(1) 目標

- ・何気なく発している言葉には、相手に誤解を与えてしまう場合があることを理解し、自分の気持ちを相手にきちんと伝えるためには、どのような言い方をすればよいか考えることができる。
- ・友達の意見をよく聞いて考えを深めたり、自分の思いを進んで話したりすることができる。
- ・進んで話合い活動に参加することにより、異学年の友達とのふれあいを深める。

(2) 活動のテーマ

「本当に伝えたい気持ちを言葉にしよう」

(3) 活動計画

学 習 活 動	教 師 の 支 援	評 価
<p>1 オープニング 歌「手をつなごう」を歌う。</p> <p>2 「やばい」を表現した人権劇を観る。 ・「やばい」の例をいくつか示す。</p> <p>3 人権劇をもとに、キラキラ班で話し合う。 ① 「やばい」を本当に伝えたい言葉にかえる。 ・ホワイトボード(大)の吹き出しに、セリフを相談して書く。 ・黄班, 赤班, 青班, 白班の順に発表する。 ② きちんと相手に伝える方法について考える。 ・発表のために, 発言したことをホワイトボード(小)にメモする。 ・白班, 青班, 赤班, 黄班の順に発表する。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>5 学習の振り返りをする。 ・学級で振り返りカードに記入しながら反省をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌うことにより, 集会の雰囲気をつくる。</p> <p>・誤解が生じる(いい意味にも悪い意味にも捉えることができる)場面設定を行う。 ・劇をする児童が, 低学年にもよく分かるように大きな声ではっきり・ゆっくり発言できるように支援する。 ・人権劇を見た後, グループの話合いで, いい意味での言い方を考えるよう助言する。</p> <p>・何について話合いをしているのかが分かるように, 話合いの内容を提示する。 ・話合いが進んでいない時は, 意見が出やすいように言葉かけをする。</p> <p>・言葉が足りない時は, 教員が問い返しをするなどして話合いを深める。 ・これからどうしたいか, 自分たちの考えも発表できるように助言する。</p> <p>・言葉が足りない時は, 教員が問い直しをしたり, 短く感想を述べたりする。 ・自分たちの班で話し合ったことと比べながら聞けるように助言する。</p> <p>・学習して思ったことや友達のよかったところを話し合わせる。</p>	<p>◇相手を誤解させる場合があることを理解できたか。①</p> <p>◇進んで話合いに参加し相手に届く声で自分の意見を言うことができたか。③</p> <p>◇友達の考えをしっかりと聞くことができたか。③</p> <p>◇3つの側面から振り返りを行い, 自分の気持ちを正しく相手に伝えようとしているか。②</p>

(4) 評価

- ・何気なく発している言葉には, 相手に誤解を与えてしまう場合があることを理解できたか。(知識的側面)①
- ・相手の立場や気持ちを大切にしながら, 自分の気持ちを正しく相手に伝えていこうとする意欲を高めることができたか。(価値的・態度的側面)②
- ・友達の意見を聞いて考えを深めたり, 自分の思いを進んで話したりすることができたか。(技能的側面)③